

=市史編さん便り= 【58号】 令和4年3月28日(月) 発行.

*****土佐清水市教育委員会生涯学習課・市史編さん室

◎市民図書館歴史講座を実施(3月26日)

「土佐清水市街地形成の歴史」

過日3月26日(土)10:30より、市民図書館2階視聴覚室において、標記のテーマで市史編さん室の田村が講話をさせていただきました。当日は、低気圧がもたらす大雨の中を十数名もの受講者の皆さんにご参加いただきました。ちょうど中央公民館での民間業者主催の研修会もあり、競合する形となり、若干参加者を奪われた形にはなりましたが、それでも歴史に熱い思いのある十数名の参加者にお聞きいただいたことは光栄でした。

中学校の教壇に立っていた3年前を思い出しました。生徒は、大先輩ばかり、まさにこれこそ「生涯学習」。先輩方の学びに対する真摯で、謙虚な姿勢に頭が下がりました。講座をさせていただいて本当に良かったと思います。近世→近現代と土佐清水市街地の変化を近世浦絵図や古写真等を活用し、分かりやすく丁寧にお話させていただきました。



◎中央公民館の歴史講座を実施(3月27日)

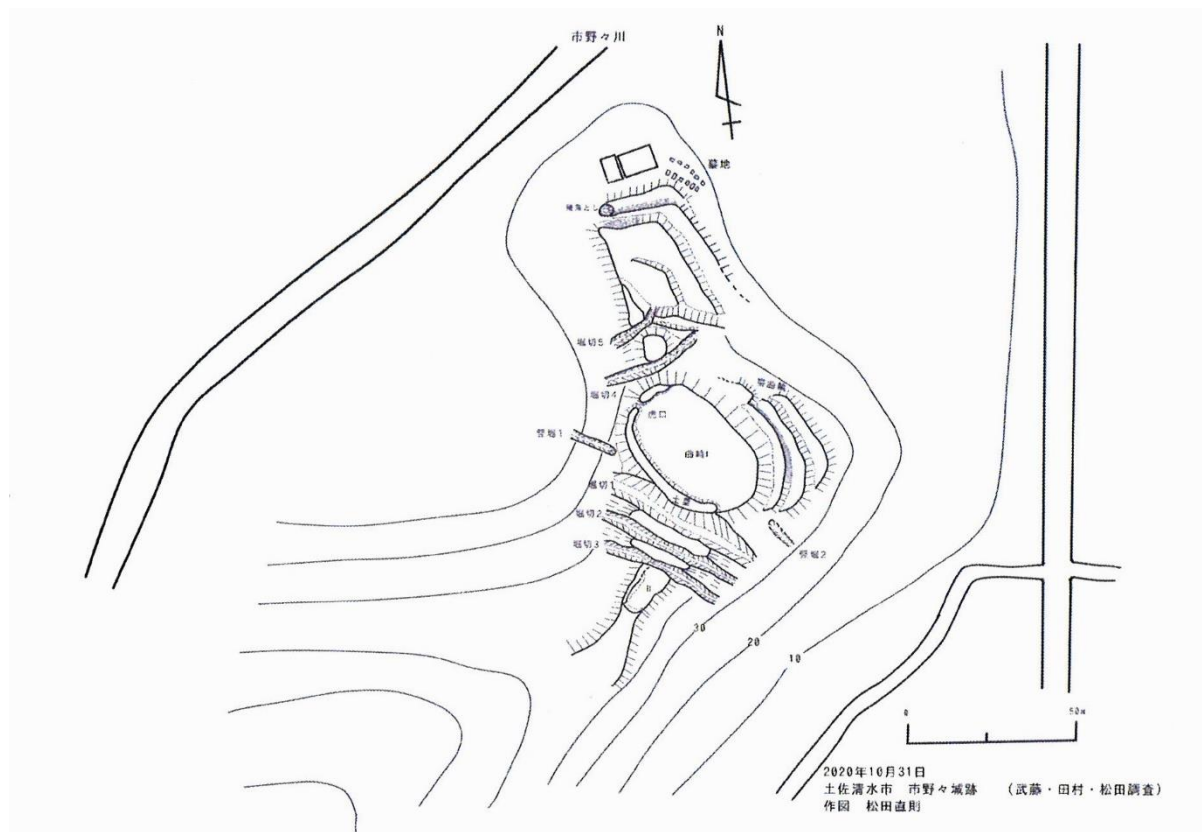
「土佐清水市山城調査から見えてきたもの」

過日27日(日)、市史編さん事業における中世山城調査をお願いしている市史編集委員・松田直則氏(高知県立埋蔵文化財センター所長)に標記テーマで1時間程度講話をいただき、終了後、市バスにて市内市野々地区に移動し、中世山城・市野々城跡の見学を実施しました。

現在、土佐清水市には、中世山城が 20 城跡現存しており、その中でも市野々城跡は堀切や詰などの保存状況がよく、小規模な山城であり、見学が比較的容易であることから今回の現地学習の対象に選ばれたものです。

松田編集委員は、市域 20 城跡を下記のように I 類から V 類に分類し、その位置づけと築城の意味を考察しました。

- I 類・・・一城別郭（大規模な拠点的城市）
加久見氏の加久見上城と下城、大岐氏の大岐城と本奈路城
- II 類・・・集落と密接な関わりがあり、交易流通の拠点として機能
宗呂、奥益野、斧積、小方、市野々、三崎、布の各城
- III 類・・・川に突き出た丘陵先端部に構築され、河川交通や平野部の監視的役割
家路川、塩屋谷、引地山、ミツ山、猿野の各城
- IV 類・・・（敵地と）境目の城として監視機能や以南地域の東西を抑える役割
小馬場、立石の各城
- V 類・・・海城の機能
下川口、たくら山の各城



↑松田直則編集委員が作成した「市野々城跡」縄張図

講話後の現地学習では、桃源郷のように桜の花びらが漂落する市野々集落の景色に参加者一同が息を飲みました。とてもきれいで春爛漫でした。山城も比較的低い山であることから登りやすく、詰の前と後に、それぞれ 2 条、3 条と連続する堀切等、見応え十分の中世山城の様相に感嘆していました。